

令和5年度定時総会第二部

令和5年5月27日

# 令和4年度活動報告書



一般社団法人宮崎県建築士会

# 目 次

## 1. 支部活動報告

高千穂支部	.....	1
延岡支部	.....	2
日向支部	.....	3
高鍋支部	.....	4
西都支部	.....	5
宮崎支部	.....	6
小林支部	.....	7
都城支部	.....	8
日南支部	.....	9
串間支部	.....	10

## 2. 委員会活動報告

技術委員会	.....	11
へりテージ委員会	.....	12
まちづくり委員会	.....	13
景観整備委員会	.....	14
青年委員会	.....	15
女性委員会	.....	16

## 3. 地域支援活動報告

延岡支部	.....	17
日向支部	.....	18
宮崎支部	.....	19

# 高千穂支部活動報告

## 70周年記念事業 ～紙から学ぶ、神の住まい～

これまで、地域の小学校を対象に木育活動を実施してきました。

今回は、神話の里高千穂町ということで神社のペーパークラフト製作を企画しました。

神社のお祭りには行くけどしっかり神社を見たことが無いという子も多く、身近にある神社はどのような形をしているのか？普段生活している家と違いはあるのか？

など、まず初めにみんなで考えてみました。その後ペーパークラフトで天岩戸神社拝殿模型を製作しました。説明書をみながら丁寧に挑戦する児童や説明書を読まずに強引に挑戦する児童さままででしたが全員が時間内に作り上げることができました。

身近にある神様の住まいを通して、建築に少しでも興味を持ってもらえればと思います。



## 土木の日ふれあい祭り～2022～

高千穂地区建設産業団体連合、宮崎県西臼杵支庁及び西臼杵三町が主催して開催した土木の日ふれあい祭りに高千穂支部も参加しました。建設機械の展示や試乗コーナー等も準備されている中、建築士会のブースにもたくさんの親子連れに来ていただき、コロナ禍で減っていた地域の方達とふれあいが数年ぶりにできたのではないかと思います。



# 延岡支部活動報告

- ・延岡支部総会開催（4月28日）
- ・宮崎県建築士会総会参加（5月28日 宮崎市）
- ・空き家活用DIYイベント協力（6月4日）
- ・延岡駅まちエリアシンポジウム（6月11日）
- ・九州ブロック研究集会「建築士の集い」長崎大会参加（6月25日）
- ・建築士の日献血及び清掃開催（7月3日 延岡イオンモール）
- ・延岡城・内藤記念博物館見学会（9月26日）



- ・第64回建築士秋田大会参加（10月14日15日）
- ・住まいづくりin延岡に参加（10月22日23日）
- ・延岡アースディ参加（11月27日）
- ・親睦ゴルフ忘年会開催（12月24日）
- ・厄払い会開催（1月27日）
- ・花見会開催（3月25日）



- ・幹事会毎月第4木曜日開催。

# 日向支部活動報告

令和4年度活動報告

○7月1日 建築士の日事業 献血活動・清掃活動 参加者 30名



○日向工業高校 建築甲子園にむけてアドバイザー派遣 4回

○9月24日 70周年記念事業 記念講演会  
『環境から考える木構造のトータルデザイン』 参加者 50名  
令和4年度地域支援活動交付金による事業

○10月14日 全国大会『秋田大会』参加者4名 椿達夫氏の令和4年度連合会長表彰



○11月5日 宮崎県建築士会創立70周年記念式典 参加者 13名

○11月7日 日向工業高校現場見学会

○11月27日 景観活動 『馬ヶ背茶屋展望台デッキ修繕』 参加者 21名  
70周年記念事業による活動



## 高鍋支部活動報告

宮崎県建築士会高鍋支部では令和4年7月29日の午後から、高鍋町の小学生を対象にペーパークラフト教室を行いました。事前に支部メンバーにて住宅の切り抜き用紙を作成し、教室当日に子供達に切り抜き、色付けをしてもらって、最後に模型をならべて街並みを作ってもらおうという内容です。

教室当日は支部メンバー14人、小学生20人参加のイベントになりました。子供たちも集中して楽しそうに制作に取り組んでいました。最後に作った作品を並べて自分達の街が完成した時には、かなりの盛り上がりでした。コロナ禍でありながら、イベントが無事出来ましたことをありがたく思います。

最後に協力いただいた高鍋町社会教育課のみなさん、お疲れ様でした。

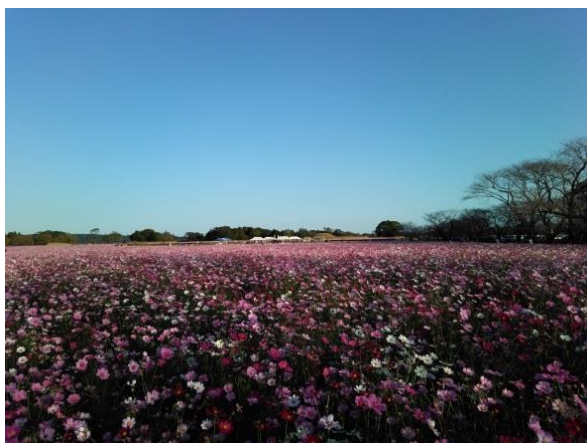


# 西都支部活動報告

○西都原コスモスライトアップ事業

事業期間：令和4年10月22日～11月6日

西都市の事業でコスモスのライトアップをするための足場6基を設置した。



○社会奉仕活動： 11月19日(土) 西都市街地ゴミ拾い活動



# 宮崎支部活動報告

## 防災かまどベンチ👉

令和4年度は加納地区、本郷地区、赤江地区、清武地区で実施しました。地域の方々と共にわきあいあいと製作しています。



## 👉現場見学会

市民プラザ特定天井現場見学会など行いました。



## 小中学生のための景観

教室👉 生目台中・生目南中で実施しました。



## 👉くむんだー事業

青年部主催の木工事業。多くの市民や将来の建築士に参加頂いたワークショップなど。大変好評を得ました。

## 年始会👉

3年ぶりの対面年始会。ノンアルコールながら楽しい時間でした。



## 👉会報誌「ミニ蓑」

年5~6回発行し、支部情報を届けています。

## 事務局での発送作業👉

毎月交代で役員が会誌発送作業を行っています。地道にやっています♪





# 小林支部活動報告

随時	役員会
5月	通常総会
7月	小林市景観審議委員会委嘱状交付式
8月	えびの市空き家対策審議会
10月	のじり湖祭せんぐまき実施（建築士の日事業）
10月	違反建築防止週間における一斉公開建築パトロール参加
11月	70周年記念事業建築作品パネル展出展 臣設計
11月	70周年記念式典参加
12月	小林市空き家等対策審議会
12月	小林市住宅マスタープラン市民懇話会
随時	耐震診断アドバイザー派遣
随時	県本部事業及び委員会への参加



# 都城支部活動報告

令和4年度 宮崎県建築士会都城支部 70周年事業の活動報告

10月22日（土）に都城工業高等専門学校の生徒たちと協力し、ワークショップを行いました。活動の内容としましては『都城高専の生徒と共に休憩所の作成』、『参加児童やその保護者を対象にした工作教室』となっております。

主旨といたしましては将来建築士になる高専生や、工作に興味のある児童と共にモノづくりによってつながることで、より建築に興味を持ってもらい、将来的な建築業界の発展、引いては迫る技術者不足等問題を踏まえ、建築士会としての今後の課題や可能性等を考える。となっております。

活動の背景としては、少子高齢化が叫ばれ始めて久しい昨今、それは我々建築士会の組織の中でも顕著に表れ、会員不足という問題が発生しています。それに輪をかけるように新型コロナウイルスによる活動の自粛や制限により、会のイベント等の開催が困難となり、それにより部員増強の機会も減少し、ますます人材不足に陥ってしまっていると思われまます。そこで建築士会として将来的な技術の継承や、その土台となる森林の循環等を踏まえた、未来に向けての教育や、将来建築士になる確率の高い高専生に対しての建築士会の認知が必要となってくるのではないかと考え、また、このような教育が新しい人材の確保育成に発展し、建築業界としての継続へと繋がるのではないかと考えました。

これから先の未来で第一線に立つ児童や高校生が、今回の活動に触れ、これを知り学ぶことにより建築等に興味を持って頂く。若しくは別の立場からとしても意識を向けて頂く事を目的とすると共に、建築士会として現在の状況や課題を見つめ直し、その未来へ繋げることを目的とします。当日は天気も良く、中心市街地にあるまちなか広場での活動ということもあり、多くの一般の方々の目に触れることが出来ました。そのおかげで予約していた方々以外にも、飛び入りでの参加者が多く、大盛況で活動を終えることが出来ました。



# 日南支部活動報告

## 『すずめの戸締り』扉作成（創立 70 周年記念事業）



設置状況（道の駅なんごう）



設置状況（道の駅なんごう）



作業状況（日南高校）



塗装完成（日南高校）

## DENKEN タイムマシン作成（地域貢献活動）



# 串間支部活動報告

- 案内サイン清掃活動（本城・都井地区の案内サイン清掃 約20名参加）



- 景観教室（70周年記念事業 串間中学校1年生に対し、くしま学「景観教室」を年3回実施）  
第1回景観講義 第2回まち歩き・ワークショップ 第3回まとめ発表及び講評



# 技術委員会活動報告

令和4年度技術委員会 全4回開催（6/17Web、7/16 対面+Web+懇親会、9/3Web、10/11Web）



（一社）宮崎県建築士会創立70周年記念事業記念式典建築作品パネル展示

11/5 各支部に過去10年の建築作品を推薦していただき、パネル展示を行いました。  
23作品が集まり、事前に作品紹介をした上で、作品ごとにコメントをいただく仕掛けとしました。  
このパネルは今後も利用可能ですので、各種イベント等に展示物として広く利用してください。



四会合同建築セミナー2022（2021年度JIA新人賞受賞者講演会）

11/19 宮崎県建築設計4団体主催の建築セミナーを企画運営に参画しました。  
講演後には懇親会、翌日は宮崎建築探訪にて有名建築家候補の方々と貴重な時間を過ごしました。

# ヘリテージ委員会活動報告

事業名称：ヘリテージマネージャースキルアップ講座

日時：2023年11月19日(土)

場所：宮崎県 県庁五号館(旧宮崎農工銀行)  
宮崎市橋通東1丁目44

講師：大山宏氏、戸口健治氏  
日本音響エンジニアリング株式会社



講習内容：県庁五号館の利活用推進・文化財の抱える問題点の解決手段について

ヘリテージマネージャースキルアップ講習会として、日本音響エンジニアリング(株) 大山宏氏・戸口健治氏を講師に招いて室内音響についてご講演をいただき、県庁五号館の抱える音響の問題点解決に提案・実証実験を行った。

まず、県庁五号館の移転の経緯と現在の活用状況について、宮崎県財産総合管理課の黒木雅裕氏に説明をしていただき、大山氏より会社の事業内容・実績についての説明、戸口氏より過去の文化財的建築物の残響時間に問題のあった施設の改善事例等・改善に対してのポイント、フラッターエコーのメカニズムの講義を受け、実際に五号館ホールの残響時間を体感したうえで、改善策の実験を行った、通常の状態では、弦楽器や会話等が聞き辛く、特に人の話は5m以上離れると聞き取ることができない状態であった、それに対し、会場2面に900×1800×25のグラスウール吸音板を配置し、吹き抜け手摺部分に、カーテンを50%程度配置することで、残響時間が適度な長さとなり、コンサート、後援会、会議等の使用に最適な空間と変化した。登録有形文化財である五号館の内装を変えることなく、簡単な設備の配置により、会場の利活用の幅が大きく広がったことが証明できた。

主な成果：五号館利活用の為のヒント・切札  
問題点解決の為の手段の方向性  
利用者の拡大

今後の計画：五号館に関して、現在の管理者から、今後の改善に向けて相談依頼等があれば、積極的に協力して問題点解決に向けて、行動をとりたいと考えています。  
次年度以降のマネージャー養成講座も検討中。



その他：ひむかヘリテージ機構との協働

令和4年10月22日(土)「国登録有形文化財の登録資料を作成できるようになろう その1」  
令和4年12月3日(土)「建物を大切にすること」  
令和5年2月25日(土)「国登録有形文化財の登録資料を作成できるようになろう その2」

—アンケートのお願い—

ヘリテージ委員会では、県内に遺る歴史的・文化的遺産を保存活用するための見学会やセミナーを計画し、ヘリテージマネージャー養成講座(4期目)の開設を検討しています。

つきましては、会員の皆さまのヘリテージに関するご意見をお寄せください。

[アンケートは、こちらから →](#)

※本アンケートは匿名回答となっております。  
回答に要する時間は5分程度です。



# まちづくり委員会活動報告

当委員会の委員長をされていた甲斐慎二さんが、昨年8月急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。甲斐さんの意志を引き継いで事業を行いました。

## ○九州まちづくり塾 in 人吉「ばってん ここに生きる」

### — 災害復旧と私たち建築士の役割 —

- 12月3日～4日 ・人吉市における災害復旧の取組事例状況報告  
・災害復旧に係る建築士会・ヘリマネの支援等について

## ○全国まちづくり委員長会議「歴史的環境の保全・活用と防災の両立を探る」

- 3月10日～11日・まち歩き「谷中」と「千住」のまち  
・事例報告：①「細街路を味わいながら、安全確保を模索する谷中のまちづくり」  
②「古民家を活用・発信し、人が集まる谷中のまちづくり」  
③「空き家活用を促進する千住のまちづくり」  
・ワークショップ「ここで建築士のまちづくりに何が  
できるかを考える」



## ○都農町観光案内サイン制作事業

### (建築士会設立70周年記念事業)

宮崎大学の出口先生・学生さんと  
コラボし、高鍋支部の皆さん、(株)  
河北さんと一緒に事業を行いました。  
案内サインを4カ所設置し、  
3月18日都農町観光協会へ寄贈し  
ました。

## ○ライトアップ社会実験(宮崎をひかりで変える委員会)

- ① 6月20日～6月30日 日向市庁舎
- ② 9月16日～9月23日 日向市庁舎  
(①②とも日向支部と一緒に実施)
- ③ 7月23日～8月28日  
宮交ポタニックガーデン青島
- ④ 10月22日～10月30日  
西都原公園(西都支部と一緒に実施)
- ⑤ 1月1日～11月30日 三股町長田峡



# 景観整備委員会活動報告

宮崎県景観啓発事業 報告書

## 伝わる！マップはオモシロイ

### ■開催主旨

- ・今回の景観啓発事業では、宮崎県内に在住の学生、地元の方々を交えながら、手作りのマップを作ります。
- ・何気なく過ごす町の様子を、景観の学びや多世代の交流を通して、改めてまち魅力に気づき、個々の感じるオモシロさ伝えるマップを作ります。
- ・将来を担う若者や、大人にとっても、新しい視点で景観まちづくりやまちの未来を再度考えるきっかけになることを狙いとします。

### ■開催主体

- ・主催 宮崎県
- ・共催 一般社団法人宮崎県建築士会（宮崎県景観形成促進機構 指定第1号）

### ■開催スケジュール

- 《1回目》 日時：2022年12月18日（日） 9：30～16：00 会場：青島浄化センター  
《2回目》 日時：2023年1月21日（日） 10：00～12：30 会場：青島地域センター

### ■参加者 延べ56名

- 《1回目》 33名 青島在住者7名・学生15名・一般3名・行政関係3名・建築士会5名  
《2回目》 23名 青島在住者7名・学生8名・一般1名・行政関係2名・建築士会5名  
（内ZOOMにて参加：3名）

### ■アンケート結果

- Q. 宮崎県では、より多くの県民の皆さまに美しい宮崎づくりに参加していただくため、様々なイベントや講演会等を開催しております。今後、参加してみたいイベントがございましたらご記入下さい。
- A. まち歩き（歴史・文化探し）・子供と大人と一緒に参加できる事業・小学生から大人まで参加できる景観に関する事業・地域の魅力を探すまち歩き事業
- Q. その他、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にご記入下さい。
- A. もう少し暖かい時期を希望・告知不足・実際にマップ作りを試みて楽しかった・とても楽しく景観に関して学べた・子供たちにもっと同じような体験をしてもらい宮崎の郷土愛が深まってほしい・

### ■総括

一般社団法人宮崎県建築士会 景観整備委員会 委員長 越山明典

今回の景観啓発事業は、地域の魅力発見・発信のためにとっても重要なものでした。地域には小さな魅力がたくさんあります。それらを少しでも多くに人々に知ってほしいものです。今回参加者で同じルートを回りましたが、完成した作品はそれぞれ個人の想いが詰まった独創的なものばかりでした。視点の違い、思いの違い、経験してきたことの違いなどにより、全く違ったものになったと思います。手作りマップだからこそ可能な、個性あふれるものとなりました。

地域の魅力は個人それぞれがいろいろな想いを抱いていると思います。この想いを発信することが出来ることに、今回参加していただいた方々が気づき、今回学んだことを多くの場で活用し拡げていただけることを強く望みます。



# 青年委員会活動報告

令和4年度 宮崎県建築士会研究集会 串間大会の報告

11月26日(土)に宮崎県内各地より40名の建築士が参加して、コロナ禍の中約4年振りとなる県研究集会が開催されました。【旧吉松家住宅の保存活用と重要文化財に学ぶ】を題材に、講師のレモン設計室 主宰 河野秀親様に基調講演をいただき、重要文化財の大切さ、学びの奥深さをご教授いただきました。基調講演の後は、国指定重要文化財 旧吉松家住宅の見学を行い、隣接地にある鬱蒼とした竹林の整備・利活用として竹灯籠の制作を行いました。

竹灯籠制作の経緯は以下の通りです。

「景観を重視する中で、国指定重要文化財である旧吉松家住宅の借景である竹林が放置されていることから、SDGs 活動の一環として「竹取物語」「炭取物語」をテーマとし、伐採した竹を廃棄することなく最後まで再利用することで、景観を整備しつつ竹を有効活用したいと考え、この活動に至ることになりました。」

この日は天気良く、南国宮崎の陽射しを浴びながらの制作になりました。11月にも関わらず皆汗だくになりながらも無我夢中で工具で穴を開けていました。その後、いこいの里で開催された懇親会は、各支部間の交流も行われ大いに盛り上がりしました。

多数の参加をいただき、深く感謝申し上げます。今後とも「未来創造部活動」へ参加のご協力をお願いしたいと存じます。

今年度の研究集会の会場は高鍋町となります。どうぞよろしくお願いいたします。



# 女性委員会活動報告

## お菓子の家づくり

開催日：令和4年12月25日（日）13：00～ 受付12時30分～

会場：新富町総合交流センター「きらり」 キッチンスタジオ

（児湯郡新富町大字上富田 6345 番地 5 TEL 0983-33-1022）

～今日はクリスマス!『ヘクセンハウス』を作りましょう! (^\_^)～



一般の方、親子でのご参加、大歓迎です!

定員：30名（申込先着順となります。）

参加費：1組 500円（当日おつりのないようお願いします。）

持ち物：エプロン・三角巾・ハンドタオル・マスク



様々なお菓子を材料に「お菓子の家」づくりを行いました。15組32名の参加者でした。  
お菓子といえども、柱や壁がないと屋根が架からない(;'▽') 意外と頭を使います。  
たくさんのお菓子に囲まれてテンション↑↑ 終始たのしい時間でした。

# 延岡支部地域支援活動報告

事業名：シンポジウム「延岡駅まちエリアのこれまでを振り返り、これからを考える」

日 時：2022年6月11日(土) 16:00～18:00

会 場：waiwaiPLAYLAB(延岡駅西口街区ビル 1F)

## <趣旨>

延岡駅前にあるエンクロスでは書店やカフェの営業だけでなく、市民活動を中心に様々な活動が日々展開されています。エンクロスができた経緯や、どのような思いで作られたのかという「エンクロスのこれまで」を振り返り、エンクロスができて街はどうなったか、これからどんなビジョンを持ってまちづくりを進めていくのか、「エンクロスと駅まちエリアのこれから」を考えていくためのシンポジウムを開催。パネラーのディスカッションと参加者のワークショップを通して対話を深め、未来につなぎます。

## <概要>

### 《第1部》トークセッション

- ・エンクロスはどうやってできたのかを振り返る  
山崎 亮 さん /コミュニティデザイナー  
乾 久美子 さん /建築家

- ・駅まちでは今何をしているか

- 佐藤 一輝 さん /市民活動者 他
- 峰田 知恵子 さん /こども食堂のべおか今山代表 他

### 《第2部》ワークショップ

- ・エンクロスと駅まちエリアのこれから 参加者全員

### 《第3部》ディスカッション

- ・駅まちエリアのこれからのについて  
乾 久美子 さん 山崎 亮 さん  
佐藤 一輝 さん 峰田 知恵子 さん

※モデレーター：山中 はるな さん /エンコミュニティラボ代表  
/京都市ソーシャルイノベーション研究所フェロー

参加者 80名(オブザーバー・スタッフ含む)

ワークショップ参加者：57名 オブザーバー：7名



## <効果>

エンクロスができた経緯や現在の状況を振り返る時間は、竣工する前のことを知らない人にとっても、計画段階から関わってきた方にとっても貴重だったようだ。ワークショップでは建築に対する意見も多く、良い建築がまちに存在することは、建築や景観への市民の意識を高めると感じられた。また、エンクロス単体ではなく「駅まちエリア全体」での活性化を必要と感じる意見が多く、エンクロスが駅まち活性化の“拠点施設”として計画されたという経緯を再認識し、その必要性を多くの参加者に感じ取って頂けたことは、主催者としてシンポジウムの目的とすべきところで嬉しい。

## <課題>

学び続けることやまちのコーディネーターを育てる難しさ等、様々な課題もみえ、まちづくりに継続的に関わっていく必要性を感じた。

# 日向支部地域支援活動報告

創立 70 周年記念事業 記念講演会

日 時 令和 4 年 9 月 24 日 13 時～15 時 30 分

場 所 日向市庁舎市民ホール

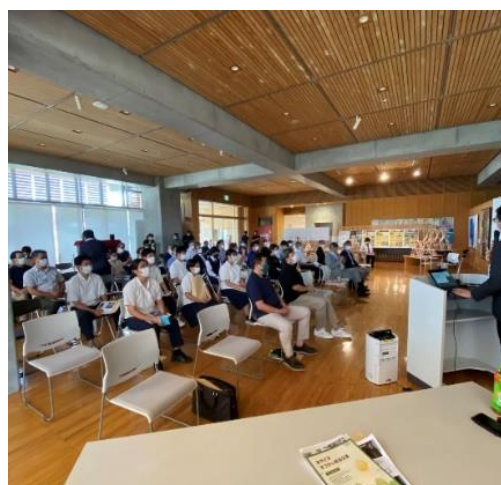
参加者 会員・関係団体・日向工業高校生・一般市民  
参加 54 名

- 内 容
- ・ 基調講演  
『環境から考える木構造のトータルデザイン』  
講師 山田憲明  
(株)山田憲明構造設計事務所代表
  - ・ フリーディスカッション
  - ・ 隈研吾デザインの積み木及び木材加工品の展示
  - ・ みやざき木造塾パネル展示



G7 農相会合において、気候変動対策における森林の役割として持続可能な木材の活用は有益であると言われました。効果的に、木材を生産し、その後の山を回復させ持続可能な環境にすることが大切だと思います。都市部では中大規模木造建築物が増えているが、本県では非住宅の木構造の建物が少ない状況です。今回の講演会は、地方に非住宅の木構造化及び県産材の利用促進を図る良いきっかけになったと思います。また日向工業高校生徒の参加もあり、木構造デザインに興味を示していました。

今後の活動として、職能を生かし次世代に繋がる地域貢献活動に取り組みたいと思います。



# 宮崎支部地域支援活動報告

**事業名称** 令和4年度青年部研修会『くむんだーをつくるんだー』

**日時** 令和5年3月4日（土曜日）

**場所** 宮崎市中心市街地 若草通りアーケード内

**協力団体** くむんだー宮崎 若草通り商店街振興組合 Do まんなかモール委員会  
県立宮崎工業高等学校

## 事業経緯

令和4年度建築セミナーとして実施した木育玩具「くむんだー」によるイベントが非常に大きな反響を得る結果となり、これにより有志によって設立された「くむんだー宮崎」にて、宮崎県産材を使用した「くむんだー」を製作した。青年部で計画している一般への建築普及活動に使用し、協力して研修会を開催する運びとなった。

## 事業内容

午前 「だいくのじかん」（木工体験）

- ・大工道具紹介、実演
- ・かな、金づち、のみ等を使用した大工体験
- ・くむんだー用木槌づくり体験



午後 「あそびのじかん」（木育ワークショップ）

- ・建築や森のことについての講座
- ・木製ジャングルジム（くむんだー）組立～解体
- ・せんぐまき体験



## 主な成果

木工体験や木育ワークショップを通し、建築や森のことを多くの方に知って頂くきっかけをつくる事ができた。（総来場者数：123人）また「くむんだー」の効果を実感する事ができ、これにより様々な面で建築士会のPR活動を行う事ができた。さらに、多くの団体から「くむんだー」によるイベントを開催して欲しいとの声を頂いた。

## 今後の計画

今回の研修会では、非常に多くの参加や良い反響を頂いたことから、今後も継続して実施する方針とし、他団体や地域、行政とも協力しながら各地でイベント等を実施するとともに、より広く木育を通じた建築普及活動や建築士会PR等を行っていくこととする。